

○第1回 日時：平成26年8月24日（日） 14：00～15：30

場所：横浜市立東台小学校 体育館

【主なご意見、ご要望等】

■公園に関すること

- ・ 約4.3haの公園の管理はどこの自治会町内会が行うのか。
- ・ 駅前には自転車駐車が整備されるとのことだが、地区公園内にも自転車置き場を設けてほしい。
- ・ 防災関連施設等とはどのようなものか。大規模な直下型地震が発生した際に、海側の住民も集まってくると考えられるが、そういったことが考慮された施設になるのか。
- ・ 大地震の発生を想定し、大災害時でも対応できる防災機能を挙げてほしい。
- ・ 現在よりも広域避難場所の区域が小さくなる中で、極力、避難できる場所を残した計画としてほしい。
- ・ どのくらいの災害に対して広域避難場所として機能するのか、災害発生時のシミュレーションを行い、根拠を示してほしい。
- ・ 公園の草地広場となる部分は過去に埋め立てられた部分であり、これまで大きい陥没が数回起きているので子供が安心して遊べないのではないかと。

《横浜市からの説明》

- ・ 公園の管理については、地区公園の場合、区の土木事務所が管理することになるが、地域の皆様に愛護会を結成していただき、日常管理に御協力していただく場合がある。複数の自治会町内会に関わることになるため、管理については相談させていただきたい。
- ・ 公園の利用者のための駐輪場の要望があれば、地域の皆様とも相談しながら検討していきたいと考えている。
- ・ 整備する公園は広域避難場所の位置付けを考えていることから、それに必要な機能の確保を考えている。防災機能については地域の皆様の関心が非常に高く、地域の自治会町内会長との意見交換を行う準備を進めている。皆様の意見も踏まえて検討していきたいと考えている。
- ・ 整備する公園について、シミュレーションによる安全性の確認まではしていない。安全性については、防災を所管している総務局と相談しながら検討を行っている。
- ・ 公園整備に当たり、安全な施設になるよう設計を進めていきたいと考えている。

■地区計画や開発計画に関すること

- ・ 12m道路の先の岸谷とのつながりはどのようになるのか。
- ・ 高低差が大きい地形であるが、道路の勾配はどのようになるのか。
- ・ どのくらいの住宅ができ、新たな道路や集合住宅により発生する交通量はどのようになっているのか。
- ・ 集合住宅による日照の問題を危惧している。建物計画が決まっていれば教えてほしい。
- ・ 緑地や、樹林地、草地等の違いがわからない。

- ・ 旧こどもセンターが12月で閉鎖されるとのことだが、保育所を整備するのなら、こどもセンターのような機能を加えた複合型の施設にしてほしい。

《横浜市からの説明》

- ・ 12m道路については、岸谷側の既存道路につなげる計画としている。
- ・ 道路の勾配については、おおむね8%程度と考えている。この8%は鶴見一・二丁目町内会館の裏側あたりの道路と同等程度の勾配である。交通管理者等との協議を進めながら決めていくことになる。
- ・ 住宅の戸数は、現時点で700戸程度になると想定している。道路については、交通管理者等と調整を進めているが、地域からの発生交通量以外に地区内を通過する車両がどのくらいになるかを検討していくことになる。
- ・ 建築計画について、線路側の土地はある程度イメージが決まってきている。それ以外の土地は未定である。都市計画の手続とは別の横浜市中高層建築物等の建築及び開発事業に係る住環境の保全に関する条例による手続等において説明がされることになる。
- ・ 緑地については、地区計画による位置付けの中で、現状を保全する樹林地、草地等と、造成後に整備する地区施設の緑地とがある。
- ・ 区民文化センター等の施設については、当該地域には整備済みである。現時点では保育所を整備する方向で調整をしている。

■その他

- ・ 3月に説明会があったが、その際の要望等はどのように反映されているのか。
- ・ 施設の解体や土砂の搬送等、工事を進めるにあたって、市及びURと地元との間で工事協定等を締結してほしい。今後も周辺住民との話し合いを十分に行ってほしい。
- ・ 競輪場の閉鎖や検討会が行われてから時間が経ちすぎている印象だが、既存の施設の解体、公園や住宅の完成予定はいつ頃なのか。なるべく早くしてほしい。
- ・ 周辺の住宅側から工事を進め、完成した部分から供用開始してほしい。
- ・ 近隣住民の下水道の問題について、県との協議は進んでいるのか。
- ・ 住宅戸数が700戸とのことだが、学校についてはどのように考えているのか。
- ・ 今回の説明会の議事録は公表されるのか。
- ・ この競輪場跡地がどのような公園になるのかをイメージがわかるような絵にして説明してほしい。

《横浜市からの説明》

- ・ 公園に至る歩行者用通路や広場、緑地などを確保する一方で建物の高さの考え方を決めている。前回の説明会の際に高さに対する心配の意見があったことも踏まえ、建物の高さや形態意匠の制限についてきめ細かく定めることとしている。
- ・ 工事計画の詳細な検討が行われ、工事計画ができた段階で工事に関して、地域の皆様へ説明することになる。工事協定なども含め、調整の進め方については検討させていただきたい。
- ・ 都市計画の手続をはじめ、必要な手続等を進め、着実に事業の進捗を図っていきたいと考えている。公園の完成時期については、平成32年度の完成を目指して確実に進めていきたいと考えている。

- ・ 全体的な造成後に公園整備が進められるため、部分的な供用開始は難しいと考えている。
- ・ 下水道については、道路を市道に移管し、公共下水道管を整備する方向で調整を進めている。
- ・ 学校の問題については、学区の調整も含めて教育委員会と調整を進めている。
- ・ 議事録については、横浜市都市整備局企画課のホームページで公開する。
今後開催予定である公聴会において公述された意見の概要とそれに対する市の考え方については、建築局都市計画課のホームページで公開する。
- ・ イメージ図や模型など、整備計画のイメージができるものをお示しできるよう調整していきたいと考えている。

○第2回 日時：平成26年8月25日（月） 19：00～21：00
場所：横浜市立鶴見公会堂 講堂（ホール）

【主なご意見、ご要望等】

■公園に関すること

- ・ 公園から横浜港で行われる打ち上げ花火は見えるようになるのか。
- ・ 起伏が激しい地形だが、公園につながる道はどの程度できるのか。
- ・ 大規模地震が発生した場合、建物倒壊による死者が24,000人を超えるといった想定がされているにもかかわらず、今回の公園には備蓄も貯水も体育館もないのはおかしい。
- ・ 地区公園とのことだが、防災のための公園といった位置付けはないのか。
- ・ 公園の整備として、大雨による雨水対策などは考えているのか。
- ・ 潮田公園は3.8haだが管理事務所やコミュニティハウスがある。今回はそのような施設を造らないとのことだが、公園愛護会に公園管理をお願いするといった話がある中で、屋根もない場所で会合をさせるのか。
- ・ 公園の管理について、指定管理者も使わないとのことだが、今回の公園の規模であれば、300人～500人の地元の方の協力がなければ維持管理ができないと思う。どのように管理するのか。
- ・ 公園に管理人がいらないとのことだが、防犯についてはどのように考えているのか。
- ・ 公園の名称について、鶴見花月園公園になったとのことだが、公募してはどうか。
- ・ 二つ池公園については、7回地元の意見を聞く相談会をやった。今回は1回もやっていない。この違いを説明してほしい。

≪横浜市からの説明≫

- ・ 高台で公園整備を行うため、眺望についても検討していきたい。
- ・ 公園へのアクセスについて、既存の道路から公園にアクセスできることを考えている。皆様の意見も伺いながら検討していきたいと考えている。
- ・ 公園において貯留施設の整備など大雨時を想定した対策は考えていない。整備する公園は広域避難場所の位置付けを考えているため、その機能に見合った整備を進めていく。

- ・ 花月園競輪場跡地については、広域避難場所に指定されており、引き続き、地震による火災の延焼や煙から身を守るための広場を確保していきたいと考えている。避難生活のための施設としては、地域防災拠点が位置付けられている。今回の公園整備では、建物の計画はしていないが、かまどベンチや一時的に雨をしのぐことができるパーゴラ、トイレなどを考えている。公園整備にあたっては、地域の皆様との意見交換などを踏まえ、計画の具体化を進めていきたいと考えている。
- ・ 潮田公園にはスポーツ施設等の有料施設があり、その管理のために管理事務所が置かれている。地区公園として施設を整備していく中で、有料施設等は計画しておらず、管理事務所を設置する予定はない。公園の指定管理については、スポーツ施設などの有料施設がある場合に導入している。管理の方法については施設内容にもよるため、地域の皆様の意見を伺いながら整備内容を決めていく際に、将来の管理についても相談をさせていただきたいと考えている。公園の管理は、地域の皆様に愛護会活動を通じて管理していただいている事例が多い。
事例を参考に整備段階から相談をさせていただきたいと考えている。
- ・ 公園の防犯について、夜間の利用方法に当たっての注意事項の掲示などにより対応していきたいと考えている。
- ・ 公園の名称は、都市計画の名称として鶴見花月園公園という名称を使っている。最終的にこの名称に決まったわけではない。公園の供用開始前に地域の皆様の意見も伺いながら決めていきたいと考えている。
- ・ 二つ池公園については、釣りの愛好者と自然保護を進める方などとのワークショップを行っているが、今回の整備についても、実際に公園を使用する皆様の意見を伺う機会も設けていきたいと考えている。

■地区計画や開発計画に関すること

- ・ 民間企業社宅ができる前は、斜面緑地が線路の反対側から見えていた。社宅が解体されて再び見える状況になっているが、建物が建てられることによりまた見えなくなってしまう。斜面緑地の意義はどのように考えられているのか。
- ・ 高層住宅を整備してしまうと学校が児童を受け入れきれなくなる。
- ・ 保育所を整備するとのことだが、もっと多くの人が利用できる施設を整備してほしい。
- ・ 生見尾の踏切が閉鎖されることとなったが、今回の道路整備と生見尾踏切の閉鎖とは別問題というのはおかしい。道路1（幅員12m）の整備により、大渋滞が発生する。
- ・ 住宅戸数が700戸よりかなり増えることになった場合のことを配慮せずに検討が進められているのではないか。
- ・ 住宅戸数700戸で採算が採れるのか危惧している。

《横浜市からの説明》

- ・ 地区計画により、歩行者用通路や広場などの空間を確保する分、建物の高さを一定程度高くできるようにしている。斜面緑地の前に建物が建つため、遠方からの景観として、建物がいない状態に比べれば斜面緑地が見えなくなることが考えられるが、建物が密集しないようにするためや、誰もが利用できる歩行者用通路が斜面緑地の中に整備されることから、斜面緑地が無駄になるようなことはないと考えている。
- ・ 学校の問題、特に小学校については、教育委員会と調整を進めている。

- ・ 公益施設として保育所の確保を検討している。多目的の施設として地区センターがあるが、鶴見区では6館あり、市全体の整備水準としては、鶴見区に地区センターを整備する予定はない状況となっている。
- ・ 道路1の交通量について、想定している700戸程度の住戸や周辺から発生する交通量については、想定や現況から算定をしている。現在、交通管理者である県警や道路管理者である道路局等と調整を進めている。その結果については、機会を見てお知らせできればと考えている。
- ・ 今回、容積率については緩和していない。この状況で民間事業者としては700戸といった想定がされ、これを大きく増加することはないと考えている。
花月園前駅の乗降客数等を考慮すると、700戸できた場合の駅の処理能力は問題ないと考えている。現時点で検討段階であり、検討の状況も含めて、皆様に説明していきたいと考えている。

■その他

- ・ 現地の状況を最も知っている鶴見区役所としっかり連携して進めてほしい。
- ・ 花月園競輪場の裏の急傾斜地崩壊危険区域に今回の工事による影響はないのか。どのような造成がされるのか。
- ・ 広域避難場所の対象範囲に生麦地区も含まれていると思うが、生麦地区の住民はどのように避難したら良いのか。
- ・ 立体模型を作成して説明してほしい。
- ・ 道路がどのくらいの勾配になるのかなど、立面図などがないと理解できない。
- ・ 工事用車両については、既存の道路を通行せずに、工事専用の道路を整備して通行させてほしい。
- ・ 地元自治会町内会長との意見交換会を立ち上げるのは賛成だが、学校管理者や一市民も参加できる仕組みにすべき。
- ・ 今回の説明会の周知はごく近隣の住民にしかしておらず問題がある。
- ・ 説明会は2回だけで足りたと思っているのか。説明会を聞こうと思っても来ることができない。9月26日には公聴会が開催されるとのことだが、手続が急すぎるのではないか。
- ・ 競輪場が廃止となってから現在に至る間、市民の要望を聞き、それを反映する機会は無かったように思う。一方的な進め方ではないか。
- ・ 過去にゾウさん公園までバスを通す計画があったが、それを再考してほしい。
- ・ 鶴見駅前が大変混雑している。この問題について、いつ誰が対応するのかを明確にしてほしい。
- ・ 鶴見駅までの道路は線路側には歩道がなく、反対側には歩道があるが狭い。
- ・ URが実施する事業手法ではなくなったのではないか。
- ・ 花月園競輪場跡地内に市の土地があるはずだが、把握しているのか。

《横浜市からの説明》

- ・ 鶴見区役所とは情報交換や地元意見の確認など、色々な形で連携をしながら進めている。今後も一層連携を深めて進めていきたいと考えている。
- ・ 造成、擁壁などといった検討はこれからになる。高低差のある土地における整備になるため、検討を進める中でイメージ図や模型など、高さ関係がわかるようなものを準備し説明していきたいと考えている。

- ・ 線路を越えてのアクセスについては、地区の課題の一つであるとは認識している。今回の整備にあたって、周辺の自治会町内会長との意見交換の場を立ち上げる準備を進めており、特に防災をテーマに意見交換をする方向で調整している。この会には、線路の海側の自治会町内会長にも参加いただくよう調整しており、海側からのアクセスについても、意見交換していきたいと考えている。
- ・ 工事車両の通行や工事の方法など、具体的な工事計画を検討する段階で地域の皆様との話し合いも行いながら、ルールを決めて進めて行くものと考えている。
- ・ 意見交換会への住民参加について、自治会町内会長と防災をテーマに進めたいと考えている。その中で周辺住民の方にも参加いただく仕組みや公園整備内容など、テーマも多岐にわたってくると考えている。そのようなことも含めて検討していきたいと考えている。

- ・ 説明会の周知については、周辺の皆様へのポスティングによる直接配付や広報よこはま鶴見区版への掲載、ホームページへの掲載が主な周知方法となっている。ポスティングの範囲については、基本的には事業区域から 50m 以上離れた道路等で区切った範囲を対象としている。その他、周辺の自治会町内会長と相談し、回覧や掲示板への掲示の対応をしていただき周知を図った。
- ・ 説明会の回数については、平日働かれている方のことも考慮し、日曜日にも開催した。2 回では少ないということについては意見として承るが、平日の夜と日曜日の昼に開催し、なるべく多くの方が参加できるよう配慮したと考えている。
公聴会については、都市計画素案の縦覧開始から 4 週間後以降に開催することとなっており、これを目安に設定している。
- ・ 競輪場の廃止後、進捗状況等がなかなか伝えられなかったことは真摯に受け止めた。この間に検討を進めてきた結果、方向性がまとまったことから、平成 26 年 3 月に計画概要の説明会を開催した。今回の説明会は都市計画手続としての説明会だが、今後も節目節目で皆様に説明する機会を設けていきたいと考えている。
- ・ バス路線の計画については把握していない。この場ではお答えできないが、意見として承らせていただきたいと考えている。
- ・ 鶴見駅へつながる道路等、交通に関しては、交通管理者や道路管理者等との協議を進め、歩行者や交通量など、道路の関係については調整していきたいと考えている。
- ・ 平成 22 年に花月園競輪場関係県有地等の利活用に係る検討会により、UR が事業主体となる防災公園街区整備事業の方向とするとした検討結果が出され、事業手法としては方向性を変更した経緯はない。まちづくりとしては、民有地と一体的に地区計画を定めて進めていく考えで調整している。
- ・ 区域内の市の土地については、いわゆる赤道と呼ばれる道路部分が市の土地として存在している。この部分については、新たに整備する道路の土地と交換になるよう整理をしている。